

弾道ミサイルの発射によって警報が発令された場合の対応について

北海道帯広緑陽高等学校

1	登校前(自宅)	指示があるまで「自宅待機」して、身柄の「安全確保」を図ること
○ 生徒・保護者は「Jアラート」等で「屋内避難の呼びかけ」があった場合、登校を見合わせ、自宅から出ずに 安全確保してください。 ○ 登校の指示は、安全が確認(公共交通機関の運行状況等含む)できた後、「安全・安心メール(楽メ)」及び本校ホームページの緊急連絡欄にて指示をしますので、各自で確認をお願いします。(これらにより確認できない場合は、HR担任へ連絡してください) ○ 状況によっては、「登校時間の繰り下げ」や「臨時休校」等の対応も考えられますので、安全が確認できた後、確実に一度ご確認願います。		
2	登校中・下校中	次の行動により、身柄の「安全確保」を図ること
○ 生徒は近くのできるだけ頑丈な建物等に避難し、身柄の安全を確保してください。 ○ 近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠す、地面に伏せるなど頭部を守ってください。 ○ 公共交通機関に乗車中の場合、乗務員の指示に従ってください。		
3	授業中	活動を中止し、教員の指示により、身柄の「安全確保」を図ること
○ 活動が教室・特別教室・体育館の場合、ドアや窓、カーテンを全て閉めて待機してください。 ○ 活動がグラウンドの場合、生徒玄関内へ移動し、待機してください。 ○ 続報により、付近に落下する恐れがある場合、教室や体育館の中央に身を寄せて、伏せるなどして頭部を守ってください。 ○ 安全が確認された後、校内放送により授業の再開を指示します。		
4	休み時間中	次の行動により、身柄の「安全確保」をはかること
○ 生徒は上記「授業中」の対応に準じて、各自で速やかに安全を確保してください。		
5	昼食中	次の行動により、身柄の「安全確保」を図ること
○ 食事を中止し、上記「授業中」の対応に準じて、各自で速やかに安全を確保してください。 ○ 廊下・特別教室・体育館等にいた場合も、上記「授業中」の対応に準じる他、できるだけ窓側から離れて待機してください。 ○ 安全が確認された後、校内放送により給食の再開を指示します。		
6	放課後	諸活動を中止し、校舎内で待機し、「身柄の安全確保」を図ること
○ 校地内に残っている生徒は、全ての活動を中止して校舎内で安全を確保してください。 ○ 安全が確認された後、校内放送により活動再開や下校等を指示しますが、状況によっては保護者と連絡・確認が取れたあとになる場合があります。		
7	試験中	試験を中止し、教員の指示により、身柄の「安全確保」を図ること
○ 試験を中断し、上記「授業中」の対応に準じて、各自で速やかに安全を確保してください。 ○ 生徒は、考査の問題用紙・解答用紙を机の中に入れて待機してください。 ○ 安全が確認された後、校内放送等により、試験の「再開時間」及び「終了時間」を指示します。		
8	休日等(室内外)	上記1～7に準じた行動により、身柄の「安全確保」を図ること
○ 何か不明なことがあれば、楽メや担任・顧問等で連絡のつく方にご連絡願います。		